

インターンシップの更なる充実に向けて 議論の取りまとめ（平成29年6月16日）
 インターンシップの推進等に関する調査研究協力者会議
 【抜粋】

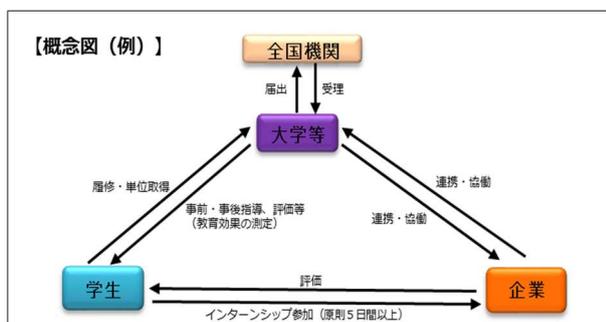
5. インターンシップの量的拡大・質的充実に向けた具体的な推進方策について

(1) 届出・表彰制度の導入による優れたインターンシッププログラムの普及【国・大学等】

- インターンシップの教育的効果を高めるためには、正規の教育課程としてのインターンシップに必要な要素として挙げた内容を大学等が実践することが重要である。その観点から、当該要素を満たしたプログラムについては、大学等から任意で届出を受け付けるとともに、その内容（大学名、企業名等含む）を公表する制度を検討し、それにより、正規の教育課程としてのインターンシップの普及を目指す。

- 公表することにより、教育的効果の高いインターンシップを実施していることを社会に向けて広く発信・アピールすることができ、一定のインセンティブの効果が期待できるとともに、現在、正規の教育課程としてのインターンシップの実施が進んでいない大学等や企業に対しての波及効果も期待できる。本制度の具体的な仕組みは今後検討を要するが、例えば、全国的な機関として、産学官で協働した大学コンソーシアム組織、インターンシップに対する深い知見を有する独立行政法人、一般社団法人等（以下「全国機関」という。）が届出を受け付ける役割を担うことも考えられ、併せて、下記（2）や（3）に挙げる方策と組み合わせることで、インターンシップの質の管理・担保を担う機能を発揮していくことが期待される。

図2：正規の教育課程としてのインターンシップの届出制度の概念図（例）



- また、本制度を活用した大学等における取組として、例えば、公表されたインターンシッププログラムを担当している教員の教育業績の評価に適切に反映させることなども、専門人材の育成に向けた一方策になり得る。さらには、インターンシップを明確に教育活動として位置付けるとともに、学内での理解形成につながるものと考えられる。

- 併せて、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシッププログラムを、グッドプラクティスとして、届出のあったプログラムの中から選定・表彰する制度について検討し、その取組を広く全国に向けて発信し、普及を図ることも有益である。